

# 市道湯屋和気線ほか街路樹管理業務委託 仕様書

## ◎一般事項

1. 発生材の処理は、受注者が処理し現場に存置することなく作業の都度搬出し、適正に処分するものとする。ただし、あらかじめ発注者の確認を得たものについてはこの限りではない。
2. 本仕様書に記載なき事項、また業務実施中に疑義が生じた場合は、その都度発注者と協議し指示に従うこと。
3. 現地確認の立会いは、双方協議して定めるものとする。
4. 契約期間中に受注者から街路樹管理の変更について申し出があった場合は、双方協議して定めるものとする。
5. 作業に当たっては、樹木・芝等の特性及び環境条件を勘案し、細心の注意をもって作業を行うこと。
6. 作業に使用する薬剤、肥料等は、季節・環境に適正なものを使用すること。
7. 本仕様書は業務の大要を示すものであって、本書に記載ない事項であっても発注者が管理上必要と認めた軽微な業務については、業務委託料の範囲に含むものとする。
8. 支払いについては、業務完了の翌月10日までに業務結果報告書を提出し発注者が確認し受理後、支払いを請求することができる。発注者は、請求を受けてから30日以内に支払わなければならない。
9. 部分払いについては、出来形が7割以上となったとき、業務出来形調書を提出し発注者が確認し受理後、支払いを請求することができる。発注者は、請求を受けてから30日以内に支払わなければならない。ただし、請負金額が100万円以上の場合に限るものとし、支払い額は出来形の範囲内とする。
10. 道路里親制度区間の管理については、道路の里親申請者と協議をし、協議結果を発注者に報告しなければならない。
11. 前月実施作業分について月報及び写真にて1月毎に提出すること。
12. 受注者は、本業務で管理の対象となっている高木について、本数に変更があった場合は、発注者に報告することとする。

## ◎樹木芝管理

1. 樹木・芝管理工の施工については、時期、箇所について発注者より指示を受けるものとし、完了後は速やかに発注者に報告しなければならない。
2. 街路樹剪定の施工については、各樹種の特性及び施工箇所にあった剪定形式により行わなければならない。なお、剪定形式について発注者より指示があった場合は、その指示によらなければならない。
3. 街路樹剪定の施工について、架空線、標識類に接する枝の剪定形式について、施工前に発注者の指示を受けなければならない。
4. 街路樹剪定の施工については、街路樹高 120cm までの軽微な枝の剪定について、業務委託の範囲に含むものとする。
5. 受注者は、剪定、芝刈、雑草抜き取り、植付けの施工に当たり、路面への枝、草、掘削土等を交通に支障のないように、速やかに処理しなければならない。
6. 受注者は、施肥、灌水、薬剤散布の施工に当たり、施工前に施工箇所の状況を調査するものとし、設計図書に示す使用材料の種類、使用量等が施工箇所に適さない場合は発注者と協議しなければならない。
7. 施肥の施工については、樹木の根元周辺に散乱する堆積土砂やゴミ等を取り除いたり、きれいに除草しなければならない。
8. 施肥の施工については、所定の種類の肥料を根鉢の周りに過不足なく施用することとし、肥料施用後は速やかに覆土しなければならない。なお、施肥のための溝掘り、覆土については、樹幹、樹根に損傷を与えないようにしなければならない。
9. 薬剤散布の施工については、農薬取締法その他関係法令、及び農林水産省・環境省の「住宅地等における農薬使用について」（平成25年4月26日 25消安第175号・環水大発第1304261号）を遵守しなければならない。
10. 薬剤散布の施工について、使用する農薬は、農薬取締法に基づいて登録された、当該防除対象の樹木などに適用のあるものを用い、ラベルに記載されている使用方法（使用回数、使用量、使用濃度等）、使用上の注意事項を守って使用する。また、現地混用は極力避け、混用を行う場合は「住宅地等における農薬使用について」に基づき十分注意しなければならない。
11. 薬剤散布の施工については、事前に周辺住民などに対して、農薬使用の目的、散布日時、使用農薬の種類について十分な周知を行う。特に農薬散布区域の近隣に学校、通学路などがある場合には、当該学校や子どもの保護者などへの周知を図り、散布

の時間帯に最大限配慮すること。また、通知の方法等について、施工前に発注者の指示を受けなければならない。

12. 薬剤散布の施工については、周辺に食用農作物が栽培されていないか確認し、必要に応じ農作物栽培者に対し通知しなければならない。また、通知の方法等について、施工前に発注者の指示を受けなければならない。
13. 薬剤散布の施工については、散布時に、立て看板の表示などにより、散布区域内に歩行者などが入らないように最大限の配慮を行う。また、散布区域及び周辺の車両、家屋、ペットなどに農薬がかからないように十分注意するとともに、必要により養生しなければならない。
14. 薬剤散布及び使用機器、薬品の保管については、事前及び事後を通じ十分注意し、作業終了後は法令に従い処理する。また、空き瓶、残液の処理についても法令に従い処理しなければならない。
15. 薬剤散布の施工については、降雨時やその直前、施工直後に降雨が予想される場合、強風時を避けるものとし、散布は噴霧器などを使い、十分圧力をかけるとともに、風向きなどを考慮し、薬剤は葉の裏や枝の影等を含め、むらのないように散布しなければならない。また、落下した枝葉、害虫は清掃しなければならない。
16. 植栽維持工の施工による枝、葉の処理は、能美市坪野町の美化センターとし、それ以外の発生材の処理は関係法令に基づき適正に処理するものとし、殻運搬処理及び発生材運搬を行う場合は、運搬物が飛散しないようにしなければならない。
17. 受注者は、暴風警報や大雪警報の発令等、街路樹の枝折れや倒木が予想されるときには適宜管理区間の巡回を行い、異常が認められる場合は速やかに発注者に報告しなければならない。
18. 履行期限は令和8年3月13日とする。